

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2014 JA佐渡の経営内容



写真：「佐渡金銀山～小倉千枚田～国際保護鳥トキ」

プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本 店 所 在 地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	26.6億円
総 資 産	1,246億円
組 合 員 数	15,719人 (正組合員8,932人・准組合員6,787人)
職 員 数	470人
店 舗 数	本店、支店 9店、出張所 3店

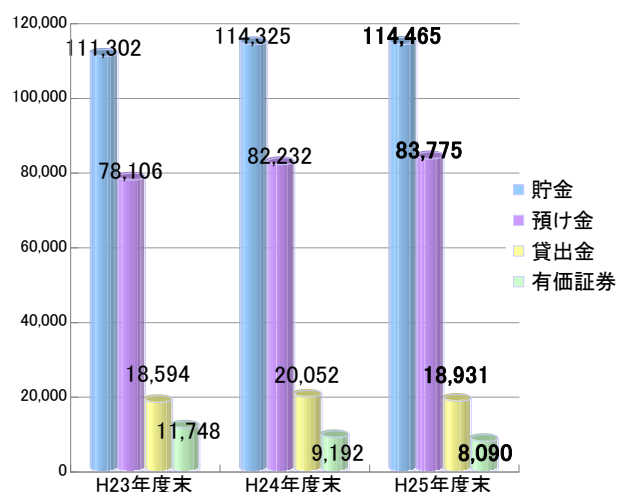
平成25年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の推移

(単位:百万円)

	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末
貯 金	111,302	114,325	114,465
預 け 金	78,106	82,232	83,775
貸 出 金	18,594	20,052	18,931
有 価 証 券	11,748	9,192	8,090

- 貯金残高は、前年比 102.7%となりましたが、内容は高金残高の増であり、個人貯金の流出による残高減少となっています。
- 預け金残高は、貸出金、有価証券運用の減少を反映して着実な信連預金を中心に前年比 101.8%と残高増となりました。
- 貸出金残高は、前年比 94.4%と目標を下回る結果となりました。新規融資では前年実績を大きく上回ったものの大口先である公金の約定返済、繰上償還などが大きく影響しました。
- 有価証券残高は、低金利の状況から運用残高を伸ばしませんでした。

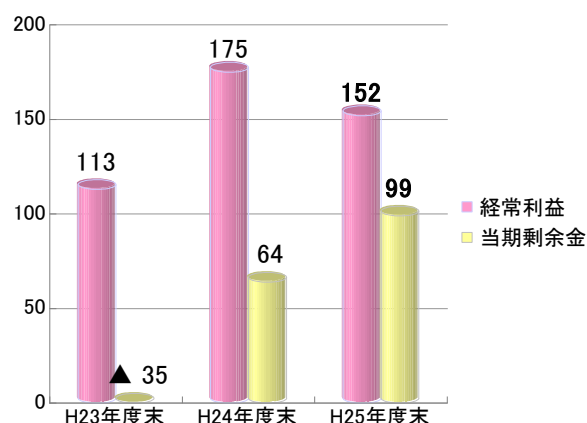


収益等の推移

(単位:百万円)

	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末
経 常 収 益	9,332	9,544	9,516
経 常 費 用	9,219	9,368	9,363
経 常 利 益	113	175	152
当 期 剰 余 金	△35	64	99
未 処 分 剰 余 金	72	144	181

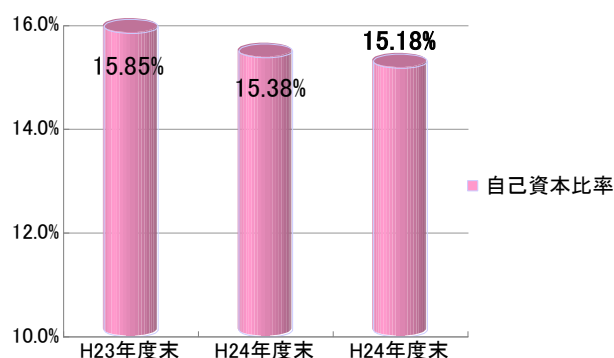
- 地域経済の低迷、低金利等の影響から信用事業をはじめ各事業とも増収が厳しい中、各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮などの総合的な経営努力により、経常利益で 1.52 億円、当期剰余金 99 百万円を計上することができました。剰余金の一部は出資配当とし、積立金の積み増し等、内部留保の充実も図りました。



自己資本比率の推移

(単位:百万円、%)

	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末
自己資本額 (A)	5,887	5,902	5,956
リスクアセット (B)	37,134	38,360	39,221
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	15.85	15.38	15.18



- 当 JA の自己資本比率は15.18%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや増資運動に取り組んでおります。

自己資本比率の算出方法について

- 出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

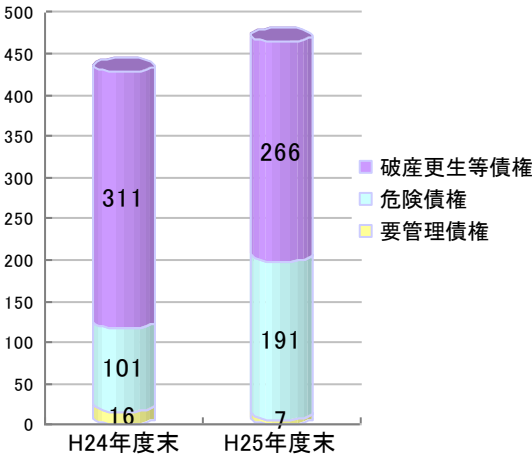
※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

不良債権の状況

金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円 %)

	H24 年度 末	H25 年度 末
破 産 更 生 等 債 権 ①	311	266
危 険 債 権 ②	101	191
要 管 理 債 権 ③	16	7
小 計 (①+②+③=A)	428	464
正 常 債 権 ④	19,931	18,638
債 権 額 合 計 (A+④=B)	20,360	19,102
債権額に占める開示債権の割合 (A÷B×100)	2.10	2.43



開示債権と保全の状況

(平成 25 年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円 %)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債 務 者 区 分	残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率 (B+C) ÷ A	区分	残高	区分	残高
破 綻 先	43	114	187	94.7	破産更生等債権	266	破綻先債権	31
実 質 破 綻 先	274						延滞債権	424
破 綻 懸 念 先	246	224	17	97.6	危険債権	191	3ヵ月以上延滞債権	—
要 注 意 先	要管理先	66	41	0	要管理債権	7	貸出条件緩和債権	7
	その他要注意先	1,013					合 計	463
正 常 先	20,246				正常債権	18,638		
合 計	21,891				合 計	19,102		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 「3ヵ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3ヵ月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	平成24年度末			平成25年度末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	2,899	2,944	42	1,499	1,515	16
その他	6,052	6,294	242	6,499	6,764	265
合計	8,951	9,235	284	7,998	8,280	281

(注) 1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

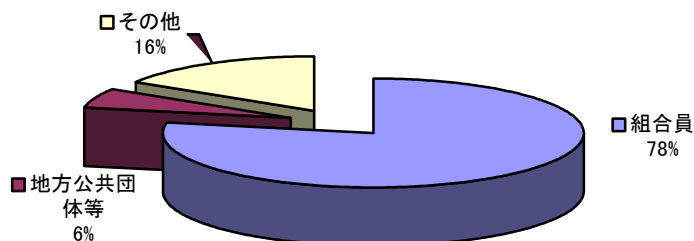
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産（貯金）をお預かりしております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	89,370
地方公共団体等	6,773
その他	18,322
合計	114,465

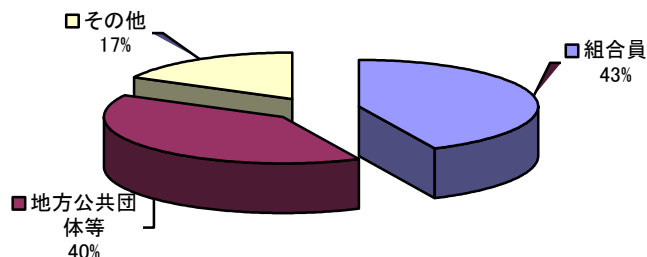


地域への資金供給状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	8,141
地方公共団体等	7,562
その他	3,264
合計	20,052



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてＴＡＣ（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「ＪＡバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、ＪＡグループ新潟またはＪＡ独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

主な農業関係の貸出金残高（資金種類別）

〔貸出金〕		（単位：百万円）
種 別	貸出金額	
プロパー資金	1,228	
農業制度資金	293	
農業近代化資金	115	
その他制度資金等	178	
合 計	1,521	

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでＪＡが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーＳ資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

社会的貢献活動への取り組み

当ＪＡは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むＪＡ」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動に取り組んでいます。

- ◆毎年３月と８月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・全役職員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動を中心に、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動を毎年実施しています。
- ◆青果市場などと毎年１１月３日に共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいを大切にしています。
- ◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金の取り組み等行政と一体となり地域のＰＲ活動に取り組んでいます。



写真：「ふれあいアッセまつり」 体験セリ



写真：地元小学校生徒による稲刈り体験



写真：環境美化ボランティア（３月、８月）

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

◆JA関連施設での太陽光発電設備の導入など二酸化炭素削減、電力コスト削減をはかるとともに、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組んでいます。



写真：本店前の緑のカーテンと畑野倉庫の太陽光パネル

◆電気自動車の普及推進を

図るため金井・両津地区の「セルフ給油所」に電気自動車の急速充電器を設置し、環境PRを行っています。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っています。

◇Aコープ店：食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院、真野みずほ病院内にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っています。

◇農産物直売所：JA直営の直売所である真野の「菜菜きて屋まの」やAコープでのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。現在、平成26年8月には新たな直売所「新鮮空間 よらんか舎」がオープンします。今後とも佐渡の園芸作物振興を推進するとともに地域の皆様に新鮮な野菜、果物などをお届けできる態勢の充実を図っていきます。

◇セレモニーホール：増加するホール葬需要に応えるために、2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っています。

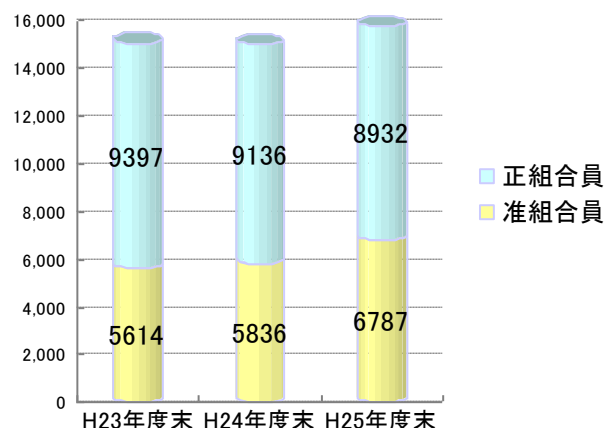
◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。平成25年3月からは、組合員割引制度をスタートし、新加入組合員も増加しています。

◇総合ポイント制度：各種事業のご利用に応じて会員皆様へのポイントによる還元サービスを行っています。現在会員数は約26,000名のご加入をいただいております。

組合員数の推移

(単位：人)

	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末
正 組 合 員	9,397	9,136	8,932
准 組 合 員	5,614	5,836	6,787
組 合 員 計	15,011	14,972	15,719



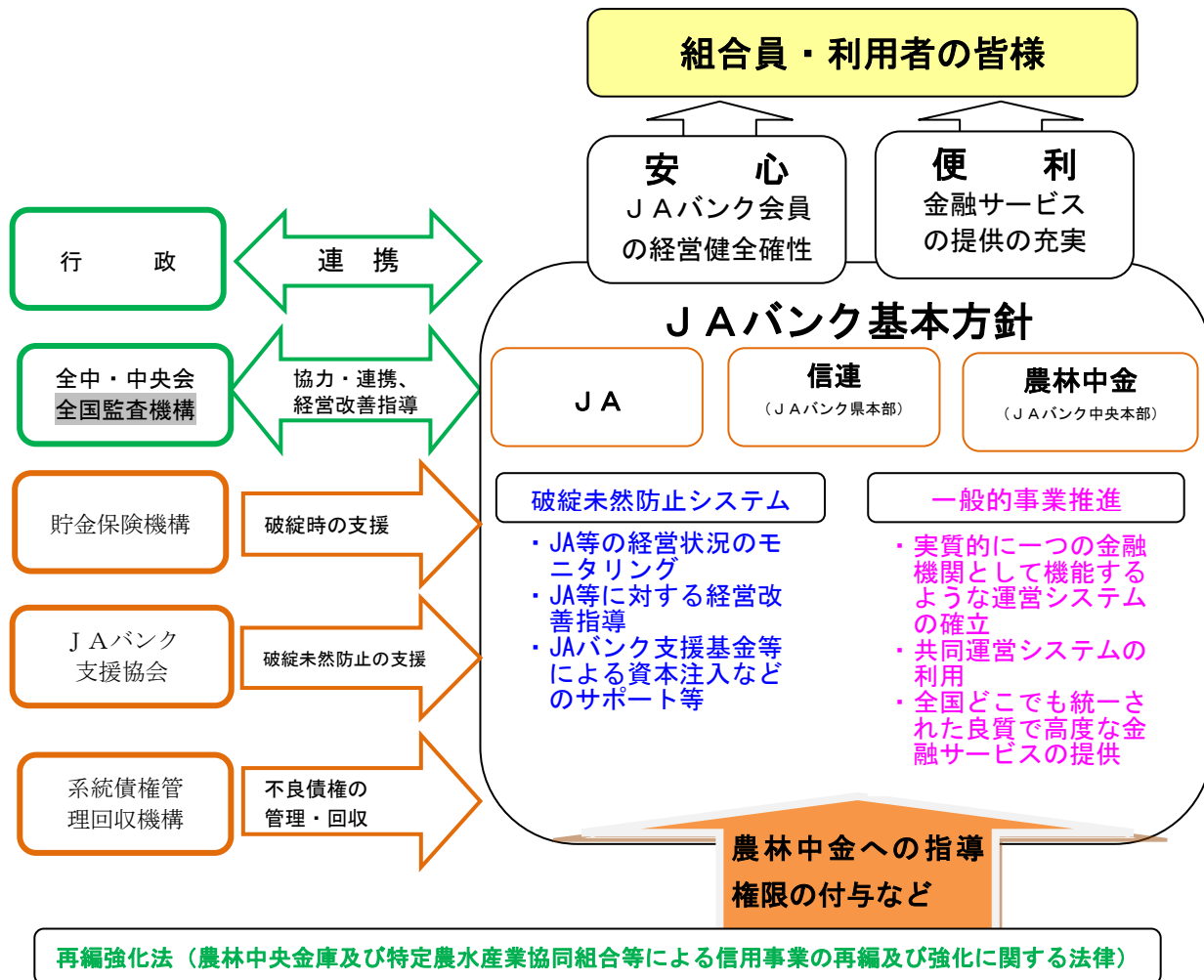
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>



佐渡を世界遺産に

JA佐渡

検索